

新たな地域公共交通の導入について

1 新たな地域公共交通の導入を検討するに至った経緯

- ・平成 23 年度，新治地区においてコミュニティバスの試験運行を開始。しかし利用状況は振るわず，平成 26 年 3 月で終了。本格運行には至らず。
- ・市役所本庁舎や土浦協同病院の移転に伴い，市内の交通需要が大きく変化しつつある状況を踏まえ，まちづくりとの連携を図りながら各公共交通が相互に補完し合うネットワークを構築し，持続可能な公共交通網の形成を推進するため，「土浦市地域公共交通網形成計画（以下，網計画）」(H29.3) を策定。
- ・まちづくり上重要な路線についてはバス事業者への働きかけ（連携），コミュニティ交通の導入で対応する路線については該当地区長と懇談会を開催。
- ・現在，新たなコミュニティ交通の導入に至らず。
- ・今年度からコミュニティバスなどの地域公共交通の導入促進を図るため，試験運行する地区の選定を行っている。

2 導入の考え方

- ・網計画，地域の状況，アンケート調査を基に評価項目を設定し，試験運行する地区を総合的に判断し，選定する。

(1) 網計画の位置づけ，地域の状況，アンケート調査

1) 網計画の位置づけ

①公共交通不便地域における施策の方向性

公共交通不便地域	
居住誘導区域内	
人口密度 30 人/ha 以上	コミュニティ交通の導入促進
人口密度 30 人/ha 未満	デマンド型交通の改善による利用促進
居住誘導区域外	デマンド型交通の改善による利用促進
まちづくり上重要な路線	バス事業者への働きかけ（連携）

※まちづくり上重要な路線…上位・関連計画（都市計画マスタープラン，立地適正化計画）にも位置付けられている，都市拠点同士を結ぶ路線や都市拠点と地域拠点を結ぶ路線。

②公共交通不便地域（居住誘導区域のうち，人口密度 30 人/ha 以上）

神立中央，神立町，並木・板谷，木田余東台，中高津，永国東町，永国台，西根南・中村南・右靫，乙戸南

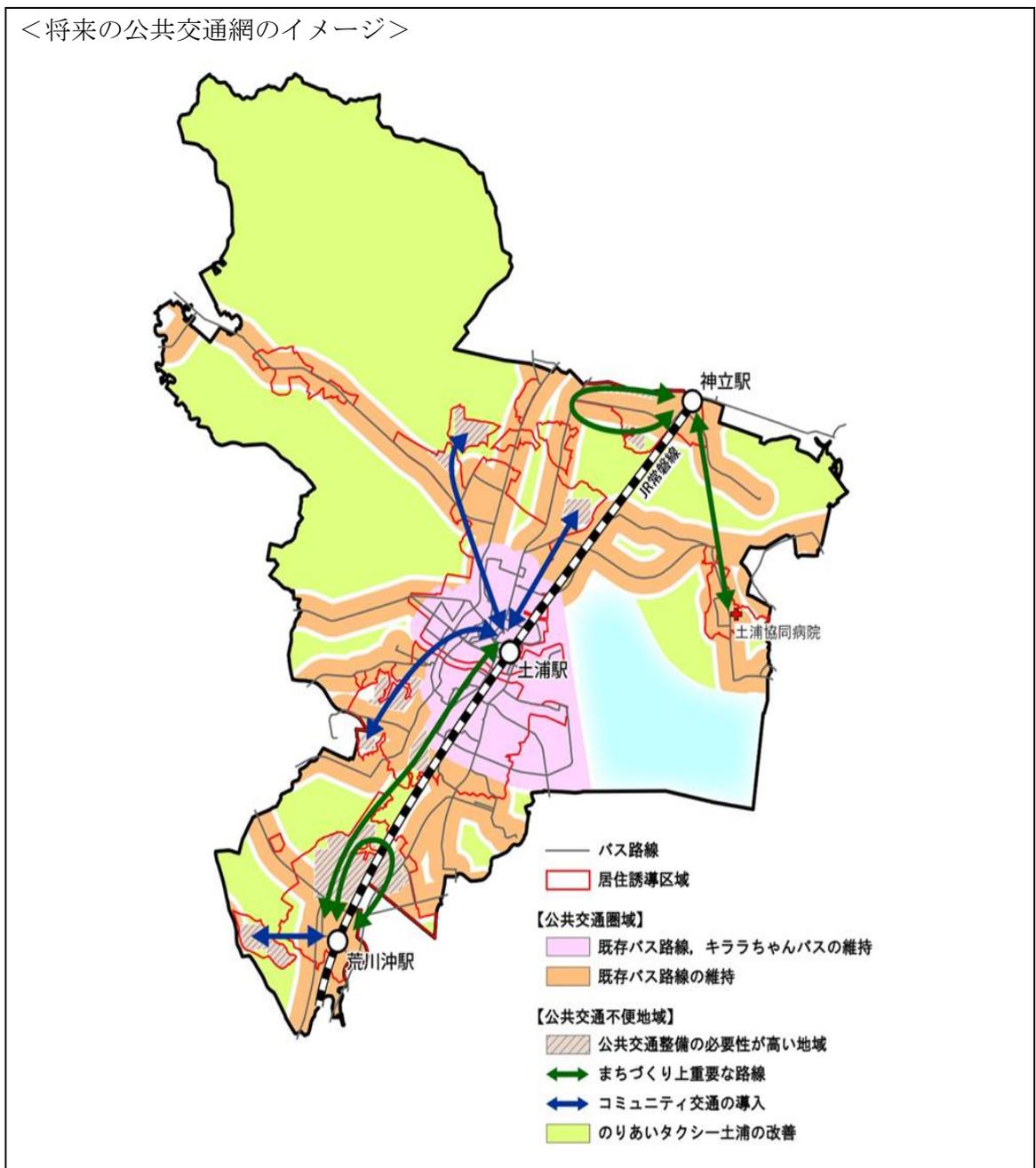
③網計画策定時におけるアンケート結果

土浦駅と都和中地区，土浦駅と国道 6 号周辺の地域（荒川沖駅，三中地区，四中地区）を結ぶ路線について，希望が比較的多くあった。

④公共交通整備の必要性の高い路線

路線	路線の性格	施策の方向性
土浦駅⇔荒川沖駅 (旧国道6号経由)	基幹的交通となりうる (A1)	まちづくり上重要な路線 バス事業者への働きかけ(連携) (B1)
神立駅⇔協同病院		
荒川沖駅周辺循環	コンパクトなまちづくり の実現に寄与する(A2)	(B1)
神立駅周辺循環		
土浦駅⇔木田余東台	地域住民の移動手手段 (A3)	コミュニティ交通の導入促進 (B2)
土浦駅⇔並木・板谷		
土浦駅⇔中高津・永国 台・永国東町		
荒川沖駅⇔乙戸南		

※上記8路線の「路線の性格」「施策の方向性」を評価項目とした。



2) 地域の状況

人口密度	コミュニティ交通導入を検討する地域は人口密度 30 人/ha 以上の比較的人口が多い地域であるが、その中でも人口密度が高いほど利用率も高いと想定できるため、人口密度を評価項目とした。
高齢化(%)	コミュニティ交通の役割として高齢者の移動手段の確保が挙げられるため、高齢化率を評価項目とした。
18 歳以下(%)	高齢者の次に自動車の運転ができない 18 歳以下の移動手段の確保が考えられることから、18 歳以下の割合を評価項目とした。
最寄り駅までの標高差(高低差)	徒歩移動で起伏がある場合、平坦な移動と比べ移動困難度が高くなるため、最寄り駅までの標高差を評価項目とした。

3) アンケート調査

- ・現在の移動実態や公共交通の利用状況を把握する調査を実施。

①送付対象地域

網計画で位置付けた、「居住誘導区域のうち人口密度 30 人/ha 以上の公共交通不便地域」
 神立中央・神立町、並木・板谷、木田余東台、中高津・永国東町・永国台、西根南・中村南、右靱、乙戸南

②期間

令和 2 年 8 月 7 日(金)から 21 日(金)

③送付数

3,000 通 (送付対象地域から無作為抽出)

④回収数 (率)

1,233 通 (41.3%)

地 域	配布数(枚)	回収数(枚)	回収率(%)
神立中央・神立町	439	147	33.5
並木・板谷	409	151	36.9
木田余東台	186	64	34.4
中高津・永国東町・永国台	928	417	44.9
西根南・中村南	388	148	38.1
右靱	433	202	46.7
乙戸南	206	104	50.5
計	2,989	1,233	41.3

※住所不定による郵送戻り 11 通

⑤調査内容

- ・日常の移動に不便を感じているか (Q 2～8)
- ・利用意向 (Q 9～10)

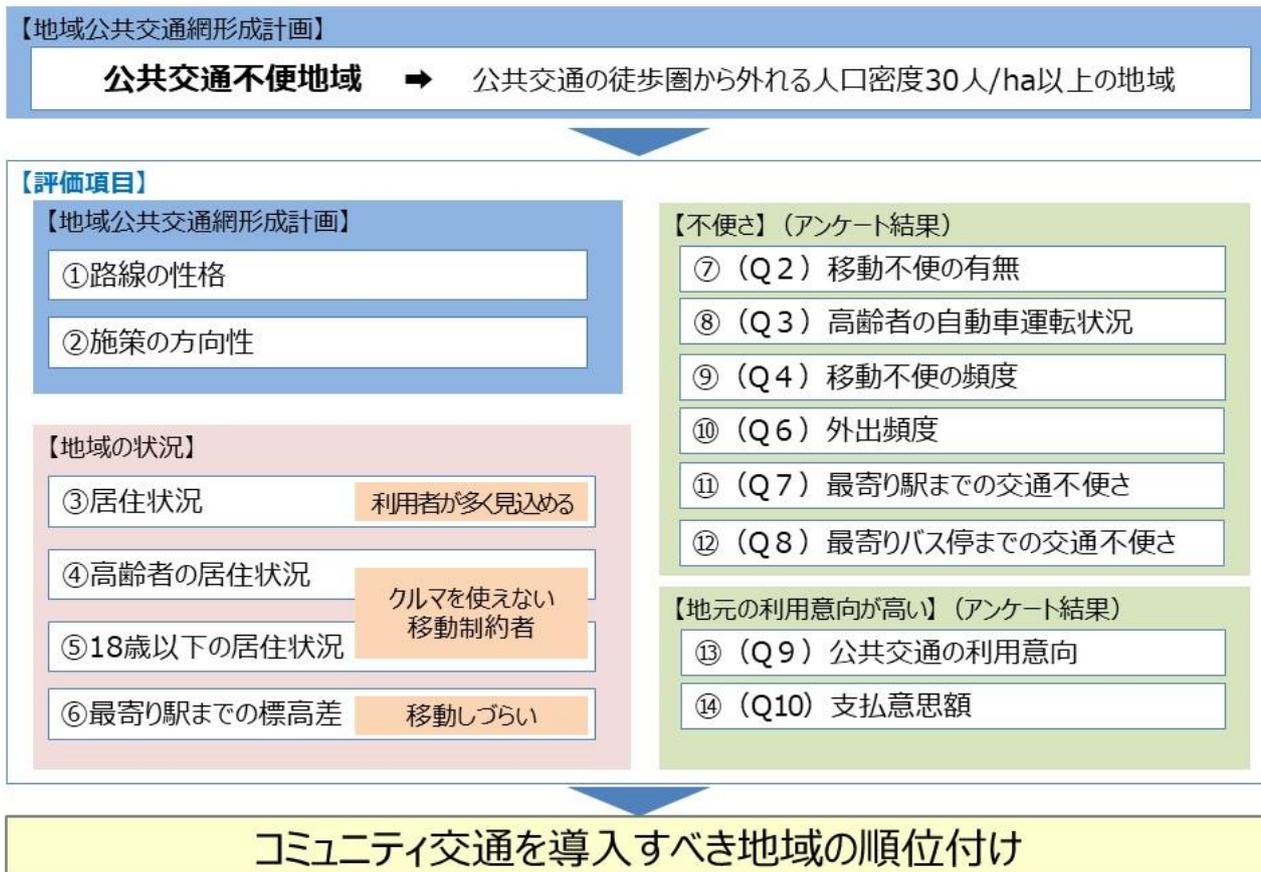
⑥評価項目

アンケートの設問 (Q 2～10) を評価項目とした。

(2) 評価方法

網計画、地域状況による客観性と、アンケート結果による地域の意識、意向を同程度評価に反映させるため、網計画の評価項目(路線の性格、施策の方向性)に重みをつけ加点方式で評価する。

3 新たな地域公共交通を優先的に導入すべき地域の評価



(1) 地域の分類

網計画では、コミュニティ交通導入促進の地域として12地区を設定しているが、導入を検討する際、交通需要は人口密度のほか、地域需要に応じて適した形態が存在することから、隣接する地区を同地域とみなし、鉄道・主要道路によって地区が離れている地区は別地域とし再設定した。

地区	神立中央	神立町	並木	板谷	木田余兼台	中高津	永国台	永国東町	右靱	乙戸南	中村南	西根南
地域	【神立中央・神立町】		【並木・板谷】		【木田余兼台】	【中高津・永国台・永国東町】			【右靱】	【乙戸南】	【中村南・西根南】	

(2) 評価項目と評価指標

1) 評価項目と評価指標

評価項目		評価指標 (配点)	
【土浦市地域公共交通網形成計画】			
① 路線の性格	路線の性格から3区分で配点 (最大2点)	2点	
② 施策の方向性	施策の方向性から2区分で配点 (最大2点)	2点	
【地域の状況】 (平均より上の地区に1点)			
③ 居住状況	H27 国勢調査 人口密度 (人/ha)	1点	
④ 高齢者の居住状況	市人口統計 65歳以上の割合 (%)	1点	
⑤ 18歳以下の居住状況	市人口統計 18歳以下の割合 (%)	1点	
⑥ 最寄り駅までの標高差	国土地理院数値標高モデル (m)	1点	
【交通不便意識】 (アンケート結果で平均より上の地区に1点)			
⑦ 移動不便の有無	移動に不安を感じている人の割合 (%)	1点	
⑧ 高齢者の自動車運転状況	65歳以上の自動車運転不安の割合 (%)	1点	
⑨ 移動不便の頻度	「移動不便を感じる人が多い」人の割合 (%)	1点	
⑩ 外出頻度	「移動が不便で外出を控える」人の割合 (%)	1点	
⑪ 最寄り駅までの交通不便さ	最寄りの駅まで「歩けない」人の割合 (%)	1点	
⑫ 最寄りバス停までの交通不便さ	最寄りのバス停まで「歩けない」人の割合 (%)	1点	
【利用意向】 (アンケート結果で平均より上の地区に1点)			
⑬ 公共交通の利用意向	条件によっては利用する人の割合 (%)	1点	
⑭ 支払意思額	適切な「バス運賃」の金額 (円)	1点	

2) 配分率

【網計画】	【地域の状況】	【交通不便意識】	【利用意向】
4点	4点	6点	2点
50% (土浦市の施策・地域の状況)		50% (アンケート結果)	

(3) 各指標における評価

【土浦市地域公共交通網形成計画】

1) 路線の性格

網計画上の路線の性格から3区分で配点(最大2点)

※既に千代田神立ラインが導入されているため加点なし

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
項目	-	A1	A3	A3	A3	A2	A3	A1
点数	-	0*	0	0	0	1	0	2

2) 施策の方向性

網計画上の施策の方向性から2区分で配点(最大2点)

※既に千代田神立ラインが導入されているため加点なし

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
項目	-	B1	B2	B2	B2	B1	B2	B1
点数	-	0*	0	0	0	2	0	2

【地域の状況】

3) 居住状況

平成27年国勢調査において、1ha当たりの人口密度を集計している。

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
数値	34.1	17.4	29.8	41.2	43.7	25.9	54.2	43.5
点数	-	0	0	1	1	0	1	1

4) 高齢者の居住状況

土浦市人口統計(令和元年10月1日現在)において、65歳以上が世帯に居住している高齢者の割合を集計している。

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
数値	40.0	32.0	41.8	19.7	43.8	43.6	45.3	47.3
点数	-	0	1	0	1	1	1	1

5) 18歳以下の居住状況

土浦市人口統計（令和元年10月1日現在）において、世帯に18歳以下の方が居住している割合を集計している。

	全地域平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右俣	乙戸南	中村南 西根南
数値	16.2	15.3	18.3	17.6	14.7	14.1	17.1	14.3
点数	-	0	1	1	0	0	1	0

6) 最寄り駅までの標高差

国土地理院数値標高モデル（令和2年7月31日）において、最寄り駅との標高差の最大値を表している。

	全地域平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右俣	乙戸南	中村南 西根南
数値	16	28	21	25	25	27	6	5
点数	-	1	1	1	1	1	0	0

【交通不便意識】

7) 移動不便の有無

アンケート調査において世帯の中で「移動に不安を感じている」と回答した割合を集計している。

	全地域平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右俣	乙戸南	中村南 西根南
数値	27.6	24.8	22.4	39.3	24.7	29.7	37.8	28.5
点数	-	0	0	1	0	1	1	1

8) 高齢者の自動車運転状況

アンケート調査において「世帯の65歳以上の方で自ら車を運転する方」に対して、「運転にやや不安を感じる、他の交通手段が不便なので運転している」と回答した割合を集計している。

	全地域平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右俣	乙戸南	中村南 西根南
数値	19.8	12.7	18.4	37.9	17.9	18.6	28.6	22.2
点数	-	0	0	1	0	0	1	1

9) 移動不便の頻度

アンケート調査において「世帯で日常の交通の移動に一番不便を感じている方」に対して、「不便を感じるが多い」と回答した割合を集計している。

	全地域平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右俣	乙戸南	中村南 西根南
数値	34.0	39.2	27.5	25.7	35.8	31.3	44.4	29.3
点数	-	1	0	0	1	0	1	0

10) 外出頻度

アンケート調査において「世帯で日常の交通の移動に一番不便を感じている方」に対して、「たまに不便を感じることもある」「不便を感じるが多い」と回答した中で、「移動が不便で外出を控えることもある」と回答した割合を集計している。

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
数値	37.5	47.1	41.2	25.7	29.7	45.8	35.2	43.1
点数	-	1	1	0	0	1	0	1

11) 最寄り駅までの交通不便さ

アンケート調査において「家から最寄りの駅まで無理なく歩けますか」という設問で、「歩けない」と回答した割合を集計している。

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
数値	37.8	24.5	68.9	57.8	42.1	33.2	19.2	17.6
点数	-	0	1	1	1	0	0	0

12) 最寄りバス停までの交通不便さ

アンケート調査において「家から最寄りのバス停まで無理なく歩けますか」という設問で、「歩けない」と回答した割合を集計している。

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
数値	4.1	4.7	6.4	2.2	1.6	6.0	10.0	6.0
点数	-	1	1	0	0	1	1	1

【利用意向】

13) 公共交通の利用意向

アンケート調査において「お住まいの近くから最寄りの駅や日常的に訪れる施設まで行けるバスが運行された場合、利用しますか」という設問で、「運賃や本数、ルートによっては利用する」と回答した割合を集計している。

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
数値	53.8	43.5	45.0	64.1	56.7	53.0	67.3	52.0
点数	-	0	0	1	1	0	1	0

14) 支払意思額

13) の回答者に対して、「バスの運賃はおいくらが適切だと思いますか」という設問で回答した金額を集計している。

	全地域 平均	神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右廻	乙戸南	中村南 西根南
数値	205.7	207.3	232.6	197.7	185.7	214.6	191.1	248.9
点数	-	1	1	0	0	1	0	1

(4) 評価結果

設問		神立中央 神立町	並木 板谷	木田余東台	中高津 永国台 永国東町	右糶	乙戸南	中村南 西根南
計画	①	0*	0	0	0	1	0	2
	②	0*	0	0	0	2	0	2
地域の 状況	③	0	0	1	1	0	1	1
	④	0	1	0	1	1	1	1
	⑤	0	1	1	0	0	1	0
	⑥	1	1	1	1	1	0	0
意識	⑦	0	0	1	0	1	1	1
	⑧	0	0	1	0	0	1	1
	⑨	1	0	0	1	0	1	0
	⑩	1	1	0	0	1	0	1
	⑪	0	1	1	1	0	0	0
	⑫	1	1	0	0	1	1	1
意向	⑬	0	0	1	1	0	1	0
	⑭	1	1	0	0	1	0	1
合計		5	7	7	6	9	8	11

※既にコミュニティバス（千代田神立ライン）が導入されているため、加点なし

4 導入検討の進め方

- ・中村南地区・西根南地区を導入候補地区として先行・試行的な運行を行い、公共交通導入の効果や、運行の持続性確保のための検証を行う。
- ・公共交通の導入において、沿線地域住民の主体性が極めて重要であることから、地域に（仮称）運営協議会を設置し、運行ルートなど具体の検討を進める。
- ・バス事業者やタクシー事業者、道路管理者、交通管理者等との調整・協議が必要であることから、これらの関係者が委員となっている「土浦市地域公共交通活性化協議会」において、（仮称）運営協議会での決定事項に関し検討・評価・助言を行う。

(1) 今後のスケジュール（案）



(2) 関係機関と調整・協議内容

調整・協議先	内 容
交通管理者	車両の安全な運行、歩行者の安全確保、利用者の安全な乗降、交通規制、走行環境の整備や停留所設置の際の道路使用許可等
道路管理者	車両の安全な運行、車両の円滑な通行、利用者・歩行者の安全確保、走行環境の整備やバス停設置の際の道路占有許可等
関東運輸局	道路運送法の許認可 等
バス・タクシー事業者	競合区間に関する取扱い、乗り継ぎに関する取り組み 等
住民・施設等	停留所設置候補地に隣接する住民・施設等との合意形成、ルート沿線の地域・施設等への周知、広報活動 等